

Information

“キャリアアップ”と“つながる”ための情報です
気になる学会・研究会、セミナーなどに出かけよう！

※掲載している情報は6月10日時点のものです。最新の情報は主催元をご確認ください。

全国訪問看護事業協会 令和3年度研修会（Web開催）

◎精神科訪問看護研修会——精神科訪問看護基本療養費算定要件となる研修会（第2回）

募集時期 7月1日（木）～8月29日（日）

内容 精神科訪問看護の実際（利用者との信頼関係構築、対人関係の援助、日常生活の援助、症状悪化の早期発見、危機介入、医療継続の支援、精神科リハビリテーションの概念と実際、精神障害者の理解・精神科疾患における薬物療法、保健・医療サービス提供システム、精神科訪問看護の理解とアセスメント、看護職のGAF評価）

対象 訪問看護ステーションの精神科訪問看護に従事する保健師・看護師・准看護師・作業療法士

受講可能期間 3か月間

受講料 会員1万5000円、非会員2万5000円

◎訪問看護ターミナルケア集中講座——訪問看護が支える在宅ターミナルケア（第2回）

募集時期 7月1日（木）～8月29日（日）

日（日）

内容 がん治療の現状・動向、緩和ケアにおける薬物療法、在宅ターミナルケアの実践、在宅ターミナルケアの考え方と取り巻く法的知識、在宅ターミナルケアのプロセスとケアのポイント、ターミナル期の疼痛コントロールおよび症状緩和の理論と実際、臨死期のケア、エンゼルケア、退院支援の進め方と実際、事例検討（ACP）

対象 訪問看護に従事する看護師等

受講可能期間 3か月間

受講料 会員4万3000円、非会員8万3000円

【以下共通】

◎全国訪問看護事業協会

☎ 03-3351-5898

☎ 03-3351-5938

☎ https://www.zenhokan.or.jp

令和3年度東京医療保健 大学大学院医療保健学 研究科公開講座（Web開催）

テーマ ダイバーシティ時代のヘルスケアを考える——連携から統合へ

日時 2021年7月4日（日）

12:30～17:00

参加費 無料

プログラム（予定） 第1部：研究

発表／第2部：教育教育1「訪問で行う摂食嚥下リハビリテーションの実践」原豪志（神奈川県歯科大学附属病院全身管理高齢者歯科診療科准教授）、教育講演2「多職種共同チームにおける個人的多様性」鷲澤尚宏（東邦大学医学部臨床支援室教授、東邦大学医療センター大森病院栄養治療センター部長・栄養部部長）／特別講演「多様性の境界線：ダイバーシティ経営からみたチーム医療」八木規子（聖学院大学政治経済学部教授・政治経済学科長）

申込方法 左記URLより申請

https://ssl.form-mailer.jp/fms/09073a81704324

◎東京医療保健大学医療保健学研究科大学院事務局・公開講座係

☎ 03-5421-7685

☎ info-master@hcu.ac.jp

第26回日本難病看護学会 学術集会 （現地開催＋Web配信）

日程 7月17日（土）～18日（日）

会場 シアーズホーム夢ホール（熊本県熊本市）

テーマ 難病ケアの本質を求めて——変わりゆくこと・変わらないこと

プログラム 会長講演「難病ケアの本質を求めて——変わりゆくこと・変わらないこと」

こと・変わらないこと」終中智恵子（熊本大学）／基調講演「新しい難病医療の構築に向けて」植田光晴（熊本大学）／共催セミナー①「遺伝性神経難病の診断・治療の歩みと発展——トランスサイレチン型家族性アミロイドポリニューロパチーをテーマに」三隅洋平（熊本大学病院）ほか／②中外製薬／③バルティスファーマ／④「家族性アミロイドポリニューロパチーと遺伝カウンセリング（仮）」柴田有花（北海道大学病院）／特別講演「難病制度の変遷——過去・現在・未来」川村佐和子（聖隷クリストファー大学）／シンポジウム①「難病ケアとCOVID-19感染症」小森哲大箱根病院）ほか／②「難病医療における遺伝のケアPart1」武藤香織（東京大学）／③「自然災害時の人々の暮らしを守る難病ケア——地震・豪雨災害をどう生かすか」三井栄美（熊本県大草保健所）／④「小児在宅医療におけるケアの本質」松尾睦（寛）ほか／ワークショップ「難病医療における遺伝のケアPart2——様々な患者会からのビデオレター」（予定）

関屋智子（金沢大学）ほか／交流集会①「難病の親を持つ子どもたち」橋本佳代子（ALSを両親に持つ娘の会ALS48）ほか／②「在宅人工呼吸器装着者への多職種で

の事故防止を考える——危険予知トレーニング(KYT)研修から「飯田苗恵(群馬県立県民健康大学)ほか／③「難病と障害のある子どもの防災を考える——みんなが一緒に助かるためにできること」阪上由美(大阪信愛学院短期大学)ほか／④「神経難病療養者の心のケアとして「聴く」ことを考える」原三紀子(東邦大学)ほか／教育セミナー①「神経難病とともに生きるを支えるケア——ALSケアを中心として」中山優季(東京都医学総合研究所)②「コミュニケーション支援の本質を求めて」佐々木千穂(熊本保健科学大学)／市民公開講座「苦境のときに活かすこころのレジリエンス——希望のクラスターを生み出そう」山本トースネスみゆき(EQ College)／一般演題

参加費 会員8000円、非会員9000円

事前参加登録締切 7月11日(日)まで

参加登録方法 左記URLの参加登録画面より

<https://orsam.jp/nanbyo26/login>

問 運営事務局

〒862-0976

熊本市中央区九品寺1-5-3

熊本第2ビル101号 コンベン

ションサポート九州内

☎096-373-9188

☎096-373-9191

✉jins2021@nigo.ne.jp

<http://jins2021.unin.jp/index.html>

第22回日本医療情報学会看護学術大会(現地+Web開催)

日程 7月30日(金)～31日(土)

会場 いわて県民情報交流センターアイーナ(若手県盛岡市)

テーマ 情報を作る力——看護職への情報教育

プログラム 大会長鼎談「看護職への情報教育」富浦澤幸子(若手医科大学)ほか／教育講演「サイバー攻撃の実態と、医療現場の情報セキュリティの守り方」美代賢吾(国立国際医療研究センター)／医療の標準化の基礎知識：HL7 FHIR 田中良一(若手医科大学)／「看護必要度とDINQLのデータ活用」秋山智弥(名古屋大学)／シンポジウム「電子カルテの看護記録を再考する」電子カルテ更新を看護部として成功させるコツ(実務編)／ワークショップ「看護情報——基礎教育で何を教える?」「看護教育デザインをブラッシュアップしよう!」アクティブラーニングを促すIC

T活用術!」／看護理工学会共同企画ワークショップ「看護理工情報学が開く未来」／若手医療情報研究会共同企画ワークショップ「医療情報技師の3C実践報告——看護職との付き合い方」

参加費 医療情報学会会員7000円、非会員8000円

問 運営準備室

〒950-0994

新潟県新潟市中央区上所1-1-24Nビル2階 デイモルギア内

☎025-2821-7030

☎025-3851-7671

✉convention@dmio.jp

<https://dmio.jp/ami-r22/>

日本看護評価学会第11回学術集会(Web開催)

日時 ライフ配信8月21日(土)、オンデマンド配信8月22日(日)～9月20日(月・祝)

プログラム 講演「変わること

の思想と実践体系としての組織開発

(Organization Development)」

西川耕平(甲南大学)／講演「コロナ禍における保健所・保健師制度」

上野昌江(関西医科大学)／講演

「COVID-19患者への看護実践の実際と課題」梅田亜矢(国立

国際医療研究センター病院)／シン

ポジウム「ACP(アドバンス・

ケア・プランニング)の正しい理解

と実践」原澤慶太郎(医療法人社

団はな)ほか／シンポジウム「フッ

トケアと転倒予防——足部から

見る転倒リスク評価」姫野裕子(日

本赤十字九州国際看護大学)ほか

参加費 会員2000円、非会員

日本地域看護学会第24回学術集会(Web開催)

日程 ライフ配信9月11日(土)～12日(日)、オンデマンド配信8

月27日(金)～9月26日(日)

テーマ 共生社会における新たな

地域看護の挑戦

プログラム 学術会長講演「共

生社会を目指す地域看護」岸

恵美子(東邦大学)／特別講演①

「生きる」に寄り添う——誰もが

「居場所」つながり「役割」がも

てる社会へ(仮)阿部彩(東京都

立大学)／②「精神障害者を支え

る活動から「私たち」が、町で生

き抜くための実践へ(仮)長野敏

宏(ハートinハートなんぐ市

場)／③「地域共生社会の実現に

向けて——世代をつむぐ、地域

をつなぐ、循環する共生社会の創

生」藤原佳典(東京都健康長寿医

療センター研究所)／教育講演①「地域の健康行動を支える——自らの意志で健康向上や回復に向けて取り組んでいただくために」福田吉治(帝京大学)／②「一人一人の力がしなやかなチームを作り上げる——組織論の観点から(仮)」西條剛央(Ussatani Management School)／③「重症心身障児者とその家族が災害の中で生きることを支える——東日本大震災での避難や生活の難しさから」山本美智代(東京都立大学)／シンポジウム①「共生社会とwell-being(幸福・健康)——つながりから共創へ」紅谷浩之(オレンジホームケアクリニック)ほか／②「地域包括ケアにおける看護職の役割——医療・看護・介護・福祉の連携・協働で目指す共生社会(仮)」野澤幸江(広島県西部厚生環境事務所)ほか／③「新型コロナウイルス感染症対策の実践から学ぶ——私たちは何ができるか、これから何をすべきか(仮)」尾島俊之(浜松医科大学)／④「看護基礎教育に必要な地域看護とは——『地域・在宅看護論』の教育で目指す新たな地域看護(仮)」宮本千津子(東京医療保健大学)ほか／理

事企画セミナー『Society 5.0』の社会における人びとのライフスタイルの展望と新たな課題——ポスト・ウイズコロナ社会への転換を視野に入れて(仮)中部由子(ウイメンズボイス)/パネルディスカッション①「地域における死別サポートの未来を考える」工藤朋子(石手県立大学)ほか
②「共生社会の実現に向けた看護者の倫理」会田蕙子(東京大学)ほか
③「共生社会を支える支援者同士の横のつながりづくりを考える」木村志義(ベガサス)ほか
④「コロナ禍が進めた働き方改革——新たな働き方と産業保健看護活動」岡田睦美(富士通)/指定集会①「地域での新たな看護の展開——看護を提供する多様な主体と、ともに支え合う地域づくりへの参画(仮)」矢田明子(Community Nurse Company)ほか
②「地域での新たな看護の展開——訪問看護で予防はどこまでできるのか」富田薫(千葉市若葉区保健福祉センター)ほか
研究——介護事業所との協働研究をCBPRの理論と視点から読み解く成瀬昂(東京大学)②保健医療福祉における実証研究の理論と可能性——住民協働の健康まちづくりを例に今村晴彦(東

邦大学)/市民公開講座「人とのつながりが健康への近道——つながりと健康格差」村山洋史(東京都健康長寿医療センター)/一般演題/ワークショップ/共催セミナー/企業展示
参加費「前期登録」会員1万円、非会員1万2000円、「後期登録」会員・非会員1万2000円、学生3000円
参加登録期間「前期登録」7月20日(火)23:59まで、「後期登録」8月2日(月)~9月23日(木・祝)
参加登録方法 左記URLの「参加登録・修正はこちら」ボタンより
<https://confit.atlas.jp/guide/event/jachn24/static/sanka>
事務局
〒162-0825
東京都新宿区神楽坂4-1-1
ワールドランニング内
☎03-52006-7431
FAX 03-52006-7757
✉ jachn24@world.jp
<https://confit.atlas.jp/guide/event/jachn24/top>

那覇市
参加費「事前」会員6000円、非会員7000円、「当日」会員7000円、非会員8000円、学生1000円
事前参加申込期間 8月24日(火)正午まで
事務局
〒902-8513
沖縄県那覇市与儀1-24-1 沖縄県立看護大学看護学部基礎看護領域内
✉ 2021kansan@okinawa-nurs.ac.jp
<http://www.jsnc.jp/annai.html>

03-3942-6369
✉ jsn23@sunpa-mvc.com
<http://jsn23.unin.jp/index.html>
日本ルーラルナースिंग学会第16回学術集会(Web開催)
日時 ライフ配信9月18日(土)、オンデマンド配信9月19日(日)~30日(木)
テーマ 東京から発信——中山間医療過疎地・島嶼で織りなれるCare
内容 学術集会長講演「中山間医療過疎地・島嶼で勤務する看護師の救急医療・看護に対する学習ニーズ」中村美鈴(東京慈恵会医科大学医学部看護学科教授)/教育講演「島しょ医療への招待——東京都のへき地医療(仮)」田口健(東京都福祉保健局医療政策部医療調整担当課長)/シンポジウム「東京の中山間医療過疎地・島嶼に暮らす人々と織りなされるCare」/研究発表・実践報告(口演)/交流集会
参加費「会員」早期登録5000円、後期登録6000円、「非会員」早期登録6000円、後期登録7000円、「学生(大学院生を除く)」早期登録1000円、後期登録2000円
申込期間 早期登録(カードまた

は銀行振込)8月20日(金)15時まで、後期登録(カードのみ対応)8月21日(土)~9月30日(木)15時
学術集会運営担当
〒135-0063
東京都江東区有明3-6-11 T F Tビル東館9階 株式会社フロムインターナショナル内
☎03-5520-8821
FAX 03-5520-8820
✉ iasrun16@procom-t.jp
<https://procom.jp/rural2021/index.html>